



高水 永雄 議員 (自民新国会)

更なる学力向上策を問う

教育長 学習活動の質的転換を図る

質問 町では、次代を担う児童・生徒に将来生きていく源の一つである学力の向上を願ひ、小学校に学習サポートを配置し、小学6年生・中学生を対象に、確かな学力の定着を図るため、フューチャースクールも実施している。しかし、学力に大きな向上が表れていない。そこで、次の点を



第二中学校で行われたフューチャースクールの様子

教育長に伺う。
問① 施策の導入にあたりどのような課題が確認されたか。
教育長 全国学力・学習状況調査の質問紙調査から、瑞穂の子ども達は自宅での学習時間が短く、スマートフォンなどの使用時間が長いことがわかり、その改善が課題となった。
問② 現状をどのように認識しているか。
教育長 「ストップ22

や「フューチャースクール」の実施で子どもたちの学習時間が以前と比べて増えてきた。
問③ 今後の展開はどのように考えているか。
教育長 学習サポートや教育支援補助員の配置など人的支援の充実を引き続き進める。また、学習活動の質的転換を図り、思考力・判断力・表現力を身につけさせ、学力向上にも取り組んでいく。

議員との対話集会

「みずほ まちなか会議」

を開催しました!

参加いただきました皆様
ありがとうございました。

11月18日長岡コミュニティセンターにおいて厚生文教委員会が、11月25日元狭山コミュニティセンターにおいて総務産業建設委員会が、「みずほ まちなか会議」を開催しました。

多くの方が参加され、それぞれの会場でいくつかのグループに分かれ、テーマについて、ワークショップ形式で意見交換を行いました。

今後議会として、より良いまちづくりに向け、議論を深めてまいります。



11月18日開催



11月25日開催



下野 義子 議員 (公明党)

障がい者支援の更なる取り組みを

町長 障害に応じたサービスの提供や相談業務の充実をしていく

質問 町は障がい者支援の啓発やバリアフリーの推進などに取り組んでいるが、更に進めるべきと考える。12月3日からの障害者週間を活用し、教育や啓発イベント、障害平等研究 (DET) の実施。

町長 啓発については、まず職員認識が必要と考えられており、新人研修でも実施している。聴覚障がい者支援については ICT の発展により先進的な事例があることは承知しているが、高額となるため、現時点での導入は考えていない。災害時の対応ではヘルプカードの普及を進めたい。介護者や保護者支援については障害に応じたサービスの提供や相談サ

こんな質問もありました 産後ケア事業の取り組みを

町長 国のガイドラインに基づき、産後ケア事業の実施に向け準備を進めていく。



町で配布しているヘルプカード

質問 町は障がい者支援の啓発やバリアフリーの推進などに取り組んでいるが、更に進めるべきと考える。12月3日からの障害者週間を活用し、教育や啓発イベント、障害平等研究 (DET) の実施。

町長 啓発については、まず職員認識が必要と考えられており、新人研修でも実施している。聴覚障がい者支援については ICT の発展により先進的な事例があることは承知しているが、高額となるため、現時点での導入は考えていない。災害時の対応ではヘルプカードの普及を進めたい。介護者や保護者支援、交通量の多い交差点へ音声信号の設置の推進などについて町長の所見を伺う。

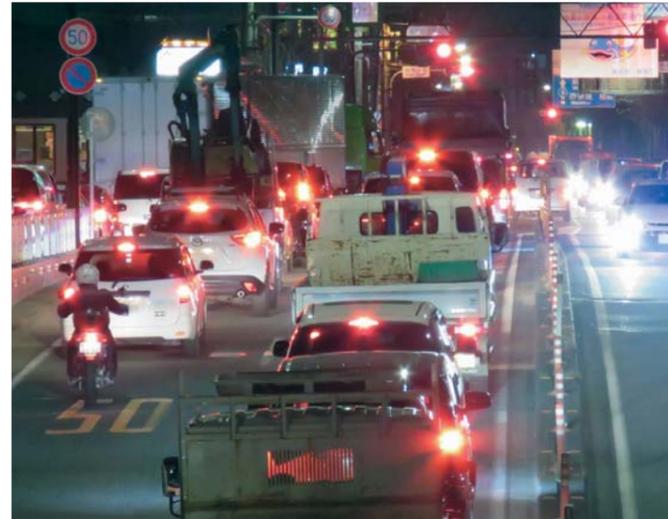
町長 啓発については、まず職員認識が必要と考えられており、新人研修でも実施している。聴覚障がい者支援については ICT の発展により先進的な事例があることは承知しているが、高額となるため、現時点での導入は考えていない。災害時の対応ではヘルプカードの普及を進めたい。介護者や保護者支援、交通量の多い交差点へ音声信号の設置の推進などについて町長の所見を伺う。



齋藤 成宏 議員 (民進党)

災害時協力協定の拡充と 市町村間の相互応援の推進を

町長 応援体制の拡充に取り組んでいく



日常的な町内の幹線道路での渋滞の様子

町長 圏央道・国道・都道が交差する圏域で、広域大規模災害が発生した際にどの市町村が、どの程度機能するのかも含めて、連絡調整が